

様々な理由で
ピアノを習いに行けない

ピアノが
弾けるよう
になりたい

アーラ

みんなのピアノ プロジェクト

「ピアノを弾きたい」という夢を叶えられない子どもたちに
アーラのピアノを無料で開放します。

アドバイザーとして地元のピアノ講師が立ち会います。
ご希望の方は裏面の申込書をご提出ください。

10月から開始
時間：16:30 - 20:00
月曜日または金曜日の指定日に実施

- ♪ 対象は概ね小学1年生から中学3年生までとなります。
(現在ピアノ教室に通っている方のご利用はご遠慮ください。)
- ♪ 1人当たりの利用は月4回まで、1回30分までとなります。
- ♪ 利用日時は、申込みされた方の中で調整いたします。

主催：(公財) 可児市文化芸術振興財団



この「みんなのピアノプロジェクト」で使用するピアノは、兵庫県西宮市にお住まいだった故・脇坂憲昭さん・暢子さん夫妻の寄贈を受けたものです。

2018年2月5日の冷え込んだ小雨の日に、そのピアノは西宮市からアーラにやってきました。『アーラ未来の演奏家プロジェクト』や『祈りのコンサート』のコーディネーターをいただいている作曲家の佐野秀典さんからピアノを寄贈したいという方がいると2017年の夏に連絡をもらいました。音楽をこよなく愛するご夫婦で、奥様は数年前に亡くなられたが、旦那様も病の床にあり、その方が自宅にあるヤマハの職人の手による特注のピアノをどこかに寄贈したいとおっしゃっている、という話でした。ピアノが好きだった奥様の暢子さんに、憲昭さんがプレゼントしたピアノだそうです。お子様はいらっしゃらず、幾度の困難も二人で助け合い、喜怒哀楽を共にしたご夫妻の、夫婦愛の結晶のひとつです。2017年12月31日、佐野さんが憲昭さんの病床の横で「荒城の月」を弾かれたときは、涙を流して喜んでおられた様です。

年が明けて憲昭さんが亡くなる直前に、ご本人の希望で「夢・希望をつむぐピアノ」としてアーラに寄贈されたこのピアノ。この先、「ピアノを弾きたい」という夢や希望を心に抱いている子供たちに、その機会を作るピアノとして、育ってくれることを願っています。

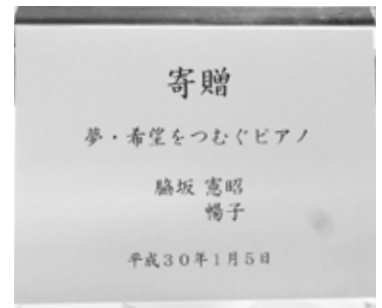
【申込方法】 下記申込書にご記入の上、可児市文化創造センター窓口または郵便、FAX、メールにてお申込みください。

【申込・問合せ先】 可児市文化創造センター 担当：松浦・坂崎

TEL:0574-60-3311 / FAX:0574-60-3312 / mail:info@kpac.or.jp
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139 (9:00-22:30 火曜休館)



アーラに運ばれてきた日



「夢・希望をつむぐピアノ」と命名



「未来の演奏家プロジェクト」でピアノを市民に初披露

✕きりとり

<みんなのピアノプロジェクト 申込書> ※スケジュールや詳細に関しては別途お送りいたします。

(ふりがな) 氏名	年齢 学校名(学年)	(ふりがな) 保護者氏名
住所(〒 -)		
TEL	E-mail	
応募動機		